

6 番	浅井 寿美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
1「小中学校適正規模・適正配置」及び「小中一貫校」が「子どもの育ち」と「まちづくり」に及ぼす影響について 【質問趣旨】 瀬戸市東部に「小中一貫校」建設する計画が、全国でもまれに見る大規模な小中学校の統廃合を伴って実施されようとしています。合意形成に着手しないまま計画案が公表され、わずか1年で基本計画をつくるという方針に、住民の一部には動揺と困惑が広がっています。 子どもにとって、そして地域住民にとって、自分たちの生活圏から学校がなくなることが何をもたらすのか、小中一貫校とは何なのか、本来であれば、子どもたちの「学び」「遊び」「地域との	(1) 第6次瀬戸市総合計画(案)の基本計画(案)におけるまちづくりについて (2) 小中学校の「適正配置」が子どもや地域及び住民へ及ぼす影響は大きい	①基本計画(案)に示されている「土地利用の方針」は、国の進める地方創生における、人口減少に対応するための縮小したまちづくり、いわゆる「コンパクト化」に対応したものとするが、この「土地利用の方針」で市がめざすものは何か伺う。 ②まちのコンパクト化を促進する「立地適正化計画」を策定すると伺っているが、この計画では法的に規定する「都市機能誘導区域」及び「居住誘導区域」を定めることになるが、これらの区域はそれぞれどのような目的で設定されるのか伺う。 ③瀬戸市の土地利用計画は、2カ所の「中心拠点」と7カ所の「地域拠点」及びそれらを取り巻く「市街地ゾーン」を設定し、立地適正化計画によって都市機能の誘導や居住誘導を図っていくと理解してよいか。 ①小中学校の「適正配置」の基準はどういうものか。 ②このたびの計画に当たって、隣接学校選択制を市としてどのように考えているか。また、この制度についてどう評価しているか ③道泉小学校及び本山中学校のある地域は、基本計画(案)の中で示された中心拠点のひとつである「尾張瀬戸駅周辺」にあたる。東明小学校のある地域は、7つの地域拠点のうちのひとつ「せと赤津インターチェンジ周辺」となっている。両地域ともにこれからの瀬戸市のまちづくりにおける戦略上重要な位置となると思うが、この地域に歩いて通える学校がないということは、居住誘導という観点から、転入者に居住地として選ばれるポイントが低くなると考えるがどうか。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	浅井 寿美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
かかわり」への影響を可能な限り想定し、学校で、地域で、市民の中でおおいに議論されなければなりません。 私は今回、この計画の進め方及び計画の内容そのものに深い懸念と危惧を抱く議員として、議会でも行政でも責任のある判断がなされることを求めて質問します。		④「子どもが育つ生活圏は、暮らしやすく、集まりやすく、まとまりやすい単位の大きさが望ましい」という考え方がる。これは、「近隣住区論」という学説の一部だが、それによると「学校・公園・コミュニティーセンターなどを中心に、半径約400mの地区に、人口4,000人～5,000人が暮らす単位」とされ、日本のニュータウン計画にも採用された。つまり子どもが育つ生活圏は「小学校がひとつある徒歩圏の範囲」という考え方が、国際的にも主流であり日本国内でも認知されている。 この「近隣住区」の考え方とは異なる今回の適正配置であるが、市は子どもの生活する範囲をどうとらえているのか、認識を伺う。 ⑤市及び教育委員会は一連の地域説明会で、子どもが学校にいるときや平日は学校で、放課後や休日などは子どもの住む地域で子どもを育てていくべきという内容の話をされた。しかし、生活圏と学校が離れている場合、地域コミュニティと子どもたちとのかかわりは、統廃合前より薄まると考えるがどうか。 ⑥今回の計画で地域によっては徒歩による通学時間が長くなったり、スクールバスによる登下校も想定されている。京都において小学校5校と中学校2校を統合してつくった東山開晴館という小中一貫校の児童を対象にした調査では、通学時間が15分以上になると6割が「遠くて疲れる」と答え、体力に差のある子どもたちが行う集団登校にも支障が出ているという。通学時間の長さ、及びバスでの通学が子どもに及ぼす影響を想定しているか、伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	浅井 寿美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3)小中学校の「適正規模」とは何か	⑦「子どもの遊び」にも大きな関係があると思われる。京都・東山開晴館の調査によると、統合校では放課後は中学生の部活が優先されるため、小学生は自由に遊べない。また通学時間が長くなり、帰宅後の外遊びが著しく減っているという結果が出ているが、どう認識するか。 ⑧「子どもの学力」への影響も指摘されている。昨年、政策研究大学院大学が調査した結果の要旨の部分に、「分析の結果、統廃合のあった小学校における児童の学力は、他の学校に比べ平均的に低いこと、また家庭での学習時間は平均的に短いことがわかった」との記載がありました。この結果についてどう認識するか伺う。 ①文部科学省は2015年1月27日に「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を各教育委員会に通知したが、これは教育委員会や市にとってどういう位置づけの文書になるのか伺う。 ②この「手引き」では「学校規模の適正化が課題」とし、「学校教育法施行規則」にある「標準規模」の「12～18学級」を統廃合の目安としているが、市の考える「適正規模」とはどれほどの規模か、またその教育的根拠は何か伺う。 ③「部活が成立しない」問題は学校を統合しなくても、この夏に開始した連携を強める方法で対応できるのではないか。また専門教科の先生がいないという問題は、教員の加配をするかどうかという問題であって、小規模校の宿命ではないと考えるがどうか、伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	浅井 寿美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 小中一貫校の教育効果は検証されているか (5) 合意形成のあるべき姿について	④市が国の委託事業へ申請をしたときの計画書には「小学校で6年間一度もクラス替えができない」ことが「子どもたちの教育にとって望ましくない環境」という表現があるが、「望ましくない」という教育的根拠はなにか。 ①このたび統廃合後の学校に小中一貫校を採用するのはなぜか。 ②市の委託事業計画書の資料には、「小中一貫校の教育ニーズ」として、「近年では、いじめの認知件数や不登校児童生徒数が中学1年になった時に大幅に増える実態など(中学校1年生段階の段差、いわゆる中1ギャップ)への対応策も必要であり・・・」となっているが、これは中1ギャップが存在するものとして、この解消をはかることが小中一貫教育の重要な役割と判断するのか伺う。 ③一貫校と非一貫校で子どもの成長、発達に違いはあるのか。 ①今回の適性規模・適正配置の計画づくりはどのように行ってきたのか伺う。 ②8月から「小中一貫校施設整備委員会」が始まったが、この事業の補正予算審議の際、「小中一貫校施設整備検討委員会」は合意形成のための会議といわれた。そもそもこの会議の果たす役割は何か。 ③市は、小中一貫教育をすすめる方針についての周知は、教育アクションプランにて実施済みと判断しているのか、また現時点で市民との合意を得られていると判断しているか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	浅井 寿美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		②8月から「小中一貫校施設整備委員会」が始まったが、この事業の補正予算審議の際、「小中一貫校施設整備検討委員会」は合意形成のための会議といわれた。そもそもこの会議の果たす役割は何か。 ③市は、小中一貫教育をすすめる方針についての周知は、教育アクションプランにて実施済みと判断しているのか、また現時点で市民との合意を得られていると判断しているか伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。